



第42回町田市消防団ポンプ操法大会

第四分団第8部が優勝！！

7月6日（日）に町田消防署において開催された「第42回町田市消防団ポンプ操法大会」には、市内第一分団から第五分団の各分団内での選考や予選を経た消防団10チームが出場し、各チームが日頃の訓練成果を披露し、優勝を目指して競い合いました。その結果、第四分団第8部が、規律ある動作と迅速かつ正確な操法により、見事第1位となり優勝を果たしました。団員一同の研鑽の成果として、心よりお祝い申し上げます。

第2位は第一分団第5部、第3位は第二分団第7部の皆様でした。

操法大会は、消防団員の技術向上と地域防災力の強化を目的として毎年実施されています。各分団それぞれ仕事を持つ団員がスケジュール調整をして、チーム練習を重ね、当日はその成果を余すところなく発揮すべく、緊張の中にも集中力を保って最高の成果の披露を目指して、熱心な演技が競われました。



消防団の皆様、当日はお疲れ様でした、今後も、市民の安心・安全の確保に向け、これまで同様、消防団活動に取り組んでいただきますようよろしくお願いいたします。

町田市消防団員募集！

優勝した第四分団第8部の皆様



地域のために一緒に消防団活動をしてみませんか？消防団は、火災はもちろん、地震や風水害などの災害発生時に活動します。また、防災のリーダーとして、地域に密着し、住民の安全と安心を守るという重要な役割を担います。

「どのような活動をしているのか」「自分にもできるだろうか」といった疑問をお持ちの方には、現役の消防団員が丁寧に説明します。町田市にお住まい、もしくは在勤・在学で18歳以上の心身が健康な皆様、まずは防災課までお問い合わせください。（Tel042-724-3254）

鶴川の夏 笑顔咲く祭り

地域みんなでつくる感動のひととき



夕暮れの盆踊り

夕暮れの空に提灯が灯りはじめるころ、町は少しずつ祭りの顔に変わっていきます。子どもたちの笑い声、大人たちの準備する姿、浴衣のすそを揺らして集まる人々——そのすべてが、夏の舞台を彩ります。踊って、語って、支え合う。それが私たちの祭り。誰もが主役になれるこの一夜は、世代を越えて心をつなぎ、町をひとつにしてくれます。裏方の努力も、屋台のにぎわいも、盆踊りの輪の中にある笑顔も、すべてが「町の夏」をつくる大切な一部。楽しむだけじゃない、支え合うからこそ、祭りは輝くのです。今年もこの場所で、笑顔とぬくもりに包まれる夏を迎えることができました。

7月26日(土) 真光寺町内会
金井町内会
小野路町内会
広袴町内会

8月2日(土) 能ヶ谷町内会
下三輪睦会
野津田町内会
8月23(土) 大蔵町内会

8月30日(土) 鶴川5丁目町内会
真光寺3丁目町内会
9月28日(日) 鶴川4丁目富士見会
10月11日(土) 鶴川2丁目町内会
三輪緑山自治会

暮れの境内に灯る提灯の柔らかな光が、静かに揺れる。人々は浴衣姿で集い、手を合わせ、先祖への感謝と祈りを捧げる。——その姿には、時を超えて受け継がれてきた敬意とぬくもりが宿っている。太鼓の音が響き、盆踊りの輪が広がると、世代を越えた笑顔が交差し、地域の絆がひとつになる。この場は、単なる行事ではなく、心を癒し、誇りと高揚感を呼び起こす特別な時間。伝統文化の継承と、コミュニティの温もりが写真の一枚一枚に刻まれている。静と動が織りなすこの瞬間こそが、私たちの町の魂を映し出しているのです。

今年も鶴川地区で盛大に開催された夏祭り。地元の魅力と人々の情熱が詰まっていました。地域の活性化と誇りの醸成に大きく貢献する大切な機会です。自分たちの町の魅力を再認識し、「うちの町の祭りはすごいんだよ」と語れる誇りを持つきっかけになります。こうした感情の共有は、地域アイデンティティの形成にもつながり、町全体の一体感を育みます。祭りの準備は、表には見えない皆様の多くの努力と情熱によって支えられています。祭りが終わ



屋台と人の賑わい



った後も、その余韻は地域に深く残ります。「あのとき一緒に準備したね」、「来年もやろうね」

といった会話が自然と生まれ、地域のつながりが持続していきます。今回の祭りを通じて、私たちは改めて地域の力と温かさを実感しました。来年もまた、この町の誇りを胸に、笑顔あふれる夏祭りを迎えられることを願っています。



浴衣姿の子供達

祭囃子と太鼓演舞

2025. 10. 16

(編集委員 水野利雄)